

# 中津川の森づくり

面積の8割を森林が占める中津川市では、豊かで恵みある森林を次世代へ継承するため、森林整備や担い手育成に取り組んでいます。

☎ 林政課 (☎内線4054)

間伐され、地面に光が届くようになった森林

## 森林整備の推進

### 林道・作業道の整備

市では、手入れの行き届いていない里山林や奥山林の整備、既存の補助事業の対象にならない危険木の除去などを実施しています。

また、広大な森林の資源調査を効率的に実施するため、無人のラジコンヘリやデジタル技術の活用などにも取り組んでいます。



▲路面を補修し、利用しやすい林道に



▲無人ラジコンヘリによる森林資源調査

## 森林環境譲与税の活用

森林環境譲与税は、令和元年度から、市町村と都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数、人口に基づき、按分し、国から譲与されます。

また、間伐や人材の育成・確保、木材利用の促進や普及啓発など、森林の整備及び促進に関する費用に充てることとされています。

詳しくは二次コードから



### 令和6年度森林環境譲与税の活用実績

14%	木材利用の推進
18%	森の担い手構想
19%	林道・作業道の整備
49%	森林整備の推進

合計 131,625 千円

## 森の担い手育成構想

幼い頃から木に触れ、木を知り、木に親しみを持ってもらうことができる環境を整備することで、森林への関心を高め、将来、木を使える人材の育成に取り組んでいます。

また、子どもたちへ市内で育った木を使った記念品の贈呈や、新たに林業に就労する方などを対象とした支援、林業関係団体が実施する木育などへの支援にも取り組んでいます。

- ①乳幼児や新入園児、新入学児童への木製品の配布
- ②林業・木工体験をはじめ、親子で楽しめるイベントを山の日にあわせて実施
- ③新規林業従事者に必要な装備品購入や資格取得を支援
- ④木曽ヒノキ備林の見学のほか、県外の大学生らが木造建築を学ぶ「かしも木匠塾」



①



②



③



④

## 木に触れて遊ぶ学ぶ なかつがわ森の木遊館

子どもから大人まで幅広い年齢層の方が「木に触れ、木に親しみ、森林とのつながりを体感できる」施設として、開館以来、県内外から約2万人の方にお越しいただきました。

季節ごとのイベントや大人向け木育イベントなどを開催しています。ぜひご利用ください。

詳しくは二次コードから



▲「大人向け木育講座」の様子